

特42
456

訂正
觀世流徭内百拾番

右
近

12

右也

四方の山長周成く雲昇れ雲そ

甲子 杉具かまの神獄

我力也我此度おまる

清浄の心花結りあく一見はてふ又

水野右とけ馬場の花とて感ある

也承の因今右の山長場の花と



詠めりもとあるウツヤ書行ウツヤあはれ
 去る様うりウツヤ雨降ウツヤあはれ
 ちめりた花の陰あウツヤらウツヤ者ウツヤ
 松ウツヤまの行ウツヤあウツヤらウツヤ梢ウツヤうウツヤかウツヤ影
 の森もウツヤらウツヤくウツヤ右ウツヤさウツヤの馬場ウツヤ
ウツヤ多ウツヤくウツヤ半ウツヤ白ウツヤ引ウツヤあウツヤらウツヤあウツヤらウツヤくウツヤも
 右さの馬場ウツヤあウツヤらウツヤあウツヤらウツヤくウツヤも

花ウツヤさウツヤらウツヤくウツヤ車ウツヤさウツヤあウツヤらウツヤくウツヤも
 興ウツヤさウツヤらウツヤくウツヤあウツヤらウツヤくウツヤも
 花ウツヤさウツヤらウツヤくウツヤあウツヤらウツヤくウツヤも
 孝ウツヤ花ウツヤのウツヤひウツヤらウツヤくウツヤあウツヤらウツヤくウツヤも
 あウツヤらウツヤくウツヤあウツヤらウツヤくウツヤあウツヤらウツヤくウツヤも
 ちウツヤめウツヤりウツヤたウツヤ花ウツヤのウツヤ陰ウツヤあウツヤらウツヤくウツヤも
 松ウツヤまウツヤのウツヤ行ウツヤあウツヤらウツヤくウツヤも
 のウツヤ森ウツヤもウツヤらウツヤくウツヤも
 右ウツヤさウツヤのウツヤ馬ウツヤ場ウツヤあウツヤらウツヤくウツヤも
 多ウツヤくウツヤも
 右ウツヤさウツヤのウツヤ馬ウツヤ場ウツヤあウツヤらウツヤくウツヤも

毎よきそらぐりもあつて馬車
たて車れの重きみして梅のきよ
しむらぎの馬場へ入るまじり
まきもゆるち物目寺のまね
きつてもあふみて後村の幸の松
かりして松も高の梅えのぞりえ
まみしてとら井のぞり花車ゆり

目暮あつそちよりかきく
長用あつたふりたつてまね
馬場の並みの梅の陰踏履よせ
えもあつて男
あつた車よきとよせさる
甲のあつた車よけのあつて音
語思ふとちよりの場へむら

の目よあつてはなほあつてはなほ
 えあつてはなほあつてはなほ
 きあつてはなほあつてはなほ
 可あつてはなほあつてはなほ
 ちあつてはなほあつてはなほ
 谷あつてはなほあつてはなほ
 なるあつてはなほあつてはなほ

ありてはなほあつてはなほ
 行あつてはなほあつてはなほ
 社あつてはなほあつてはなほ
 一あつてはなほあつてはなほ
 今あつてはなほあつてはなほ
 女あつてはなほあつてはなほ
 森あつてはなほあつてはなほ

あす 言 見もあ人も花の友ウツク
きぬもきぬも花の陰影相照富シタ
しきろ人の心心あれく花
車車の榻榻立立て木木の本本より下下居居て
いばちいばちあはれあはれ花花のよよここみみはは
きんきんののししるる義義母母よよううりりくく花花
心心引引く物物をを後後くく引引てて後後く

高高のの鳥鳥もも花花ののよよここみみはは
ううのの心心引引く物物をを後後くく引引てて後後くく
都都のの心心引引く物物をを後後くく引引てて後後くく
時時のの心心引引く物物をを後後くく引引てて後後くく
寺寺のの心心引引く物物をを後後くく引引てて後後くく
都都のの心心引引く物物をを後後くく引引てて後後くく
時時のの心心引引く物物をを後後くく引引てて後後くく
寺寺のの心心引引く物物をを後後くく引引てて後後くく
都都のの心心引引く物物をを後後くく引引てて後後くく
時時のの心心引引く物物をを後後くく引引てて後後くく

可^三花^二の^一.....
殿^一も^二花^一の^二.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

ひつりきりしちりへし ちりへしちりへし
むすむすのさかちりへし ちりへしちりへし
ちりへしちりへし ちりへしちりへし
ちりへしちりへし ちりへしちりへし
ちりへしちりへし ちりへしちりへし
ちりへしちりへし ちりへしちりへし
ちりへしちりへし ちりへしちりへし

ひつりきりしちりへし ちりへしちりへし
むすむすのさかちりへし ちりへしちりへし
ちりへしちりへし ちりへしちりへし
ちりへしちりへし ちりへしちりへし
ちりへしちりへし ちりへしちりへし
ちりへしちりへし ちりへしちりへし
ちりへしちりへし ちりへしちりへし

君乃威克も豊たうく花もふらふ
治るもつらあは代はぐしたらふ
皇^上とあふ天照神に惠たうまて
の桜乃官井と歌き給ひ^上家よ
水野の神の宮居よ^上花梅塔の
神とあはらうれ皇々威克を歌り
まゐの神もつら^上の若^上の若^上の月^上

ま照る花に神^上の宮居よ
神うらうのま^上の舞^上の^上拍子^上を
うらうま^上のま^上の^上舞^上の^上拍子^上を
花よたうま^上の^上舞^上の^上拍子^上を
志もあはれ^上の^上舞^上の^上拍子^上を
花盛く東南西も音まの浪の
ま^上の^上舞^上の^上拍子^上を

水よきいまきさうしうしう
 ろし櫛容れうしうしうしう
 のり枝よつうしうしうしう
 きり雲よつうしうしうしう
 ちりしうしうしうしうしう
 しうしうしうしうしうしう

右之本者觀世大夫織部以章句
 真本令放行畢

天保十一庚子歲孟春改正再板

皇都三條通御幸町西江入所

山本長兵衛



明治廿六年二月十七日印刷
 明治廿六年二月同日訂正出版
 明治廿六年三月九日別製本御届

定價三錢五厘

東京市麹町區飯田町四丁目壹番地
 宮内省御用達

訂正者 觀世清廉

板權 所有

發行所 京都市上京區三條通御幸町西
 檢印者 檜常之助



